

令和6年度 石岡市地域ケア個別会議自立支援型 概要及び地域課題

事例番号	開催日時	参加人数	対象者及びケース概要	介護度	地域課題
①	第1回 5月14日（火） 14時30分～16時30分	14名	配偶者の介護があり心理的な負担が大きい。計画的なやりくりが不得手で生活必需品以外の購入費に充てるため常に生活が困窮している。	事業対象者	○高齢者の地域活動（趣味活動含む）に関する情報の周知 ○支援者の多職種連携（社会福祉協議会、行政担当者等）
②			高次脳機能障害により何事にも依存的。肥満で食事管理が必要だが食事を作る配偶者が重要性を認識していない。	要介護2 第2号被保険者	○家族への栄養指導機会 ○若年要介護者への支援方法（障害福祉サービス活用、相談窓口）の情報共有
③	第2回 7月24日（水） 14時30分～16時30分	11名	高次脳機能障害により感情のコントロールが不得手。介助時に力が入り過ぎてしまい相手が怪我をしたことあり。同居家族は症状に戸惑い介護者は配偶者のみ。	要介護4	○利用者の状態像に関わらず家族が介護サービス利用を希望できる相談体制や事業所の受け入れ体制 ○介護や疾病について働き世代や孫世代への普及啓発
④			もともと自分勝手な性格で意にそぐわないと暴言暴行あり。人工透析をしているが自己判断で薬中断、喫煙継続。家族は対応に疲弊しているが本人の意のままにってしまう。	要介護2	○血液透析をしていて精神疾患のある人の受け入れ先が少ない ○暴言、暴力がある方の家族に対するメンタルヘルスの普及
⑤	第3回 8月20日（火） 14時30分～16時30分	13名	腰椎圧迫骨折のため本人は長期短期入所利用に納得したが、骨折以前から家族は自宅介護に限界を感じていた。家族関係は良好。糖尿病があり食事管理も必要。	要支援2	○通所、短期入所サービス利用時の食事に関する調整（主治医、言語聴覚士、管理栄養士との連携） ○支援者が、本人の気持ちを尊重しつつも在宅生活継続の終了時期を判断し、折衝する能力を向上すること
⑥			独居高齢男性。子は遠方に住み月数回の来訪。趣味活動や友人等との交流がなく引きこもりがち。一人でいるとつまらないと話すも通所サービスは拒否。	要支援1	○一人暮らし男性高齢者の活動場所や交流機会の情報を持つこと ○支援者が有償ボランティアや地域のミニサロン等（インフォーマルサービス）の情報を持つこと
⑦	第4回 10月22日（火） 14時30分～16時30分	16名	独居高齢者。医療や介護に懐疑的で利用に拒否的。野良猫に自身の食事をあげてしまい、自身が栄養不足に陥っている。	要介護1	○医療や介護に拒否的な方へ対する支援介入方法やタイミングの見極め ○生活上の優先順位の多様化に伴う福祉の考え方や対応の仕方
⑧			高齢夫婦世帯、本人は人工透析。配偶者が家事を行うが病識薄く栄養管理が不十分。近隣に店はなく車で15分かかるが夫妻ともに運転はできない。本人夫妻と子のどちらも将来の生活像を危惧していない。	要支援2	○生活実態が把握できない夫婦の支援体制の不足 ○遠方に住むキーパーソン(子)の見立てが十分でなく、先々の見通しや計画が立てられていない
⑨	第5回 12月17日（火） 14時30分～16時30分	16名	大腸癌によりストマ設置あり、サービス利用しながら何とか管理している。糖尿病だが菓子パンや惣菜等を好みに摂り、喫煙、飲酒も継続。	要支援2	○利用者の多様な死生観への事業所の対応力アップ ○ケアマネジメントにおける栄養指導の活用
⑩			本人はアルコール依存症、レビー小体型認知症、糖尿病の既往があるが一日中飲酒を継続し生活意欲低い。同居の子は引きこもり。本人の配偶者が本人および子の生活全般を支援。	要支援2	○ダブルケアラー支援についての専門職のスキルアップ ○アルコール依存症の要介護者・要支援者の支援の充実